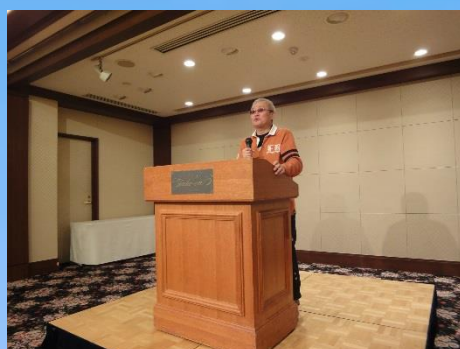




【西日本ブロック】秋の例会2016年10月4日（火）

去る10月4日に関西において、秋の例会・懇親会を太閤園にて開催しました。例会ではTVでおなじみの勝谷誠彦氏を講師としてお招きし、「日本が誇る空間の文化」というタイトルで政治経済の話から風俗ライターとしての立場でレジャーホテルのことまで面白おかしくお話しして頂きました。勝谷氏の現代における豊富な風俗の知識を知ること、ホテルを利用するお客様の層や利用目的の変化に驚き、また違った角度から現代のレジャーホテルの利用実態等を知れたのは大変参考になりました。



全国各地からホテルオーナーを中心に総勢100名ほどの方がお越しになり、積極的に情報交換になったと思われます。また、懇親会での賛助会員の紹介や余興では、会場全体が熱気に溢れかえりました。改めて皆様のホテル経営に関する意欲の高さを感じました。

■例会

日 時：2016年10月4日 16:00～17:30
会 場：太閤園 迎賓館 2階ゴールデンホール
大阪市都島区網島町9-10

■セミナー

講 座：「日本が誇る空間の文化」
講 師：勝谷誠彦氏

■懇親会

会 場：太閤園 別館 ガーデンホール 18:00～20:00

■ 一般社団法人 日本レジャーホテル協会 西日本ブロック
大阪府大阪市北区梅田1-11-4-1100 TEL 06-4799-9291



第2回 九州レジャーホテルEXPO2016 in FUKUOKAを開催

一般社団法人 九州ホテル協会は「西鉄ホール」において9月7日・8日の2日間に亘り、今回で第2回目となる「九州レジャーホテルEXPO2016 in FUKUOKA」を盛大に開催致しました。展示会出展企業29社による出展ブースには2日間で合計848名もの熱心なホテルオーナーや関係者が来場し大変賑わっておりました。最近のホテル業界全体のインバウンド需要増加の影響や民泊問題、菅官房長官の融資緩和発言などでレジャーホテル業界が注目を集めている影響もあり、今回は地元のテレビ局や西日本新聞が展示会へ取材に来るなど、大変注目度の高い展示会となったようです。

また2日間に亘り第1講座から第4講座まで開催された無料セミナーも立ち見が出るほどの盛況ぶりで、予約システムへのニーズの高さ、アメニティやホテルデザインの最新トレンドへの関心の高さが示された結果だと思えます。7日の夜に行われた懇親会には147名の業界関係者が参加し、最新の情報交換や親睦をはかり、大変貴重な時間を過ごす事が出来たのではないのでしょうか。またゲストMCとして福岡の人気ラジオパーソナリティBUCHIさんと福岡の“まつだせいこ”ことパンカヨコさんが登場し、ふたりのピッ



タリと息の合ったMCのおかげもあり終始笑いに満ちた大変楽しい懇親会となりました。さらに懇親会では豪華賞品を賭けたじゃんけん大会も行われ、こちらも大いに盛り上がりおりました。懇親会後も皆さん熱冷めやらぬ様で、2次会3次会と夜の中洲へ消えてゆくのでした。．．今回で2回目の開催となりましたが、九州のレジャーホテル愛と情熱は前回以上に熱く、熱波のようにひしひしと感じる事ができました。さすがは火の国がある九州、次回開催も大変楽しみです！

■展示会概要

- 主催 : 一般社団法人 九州ホテル協会 (会長・高崎 次郎)
協力 : 一般社団法人 日本レジャーホテル協会 (会長・清水 祐侍)
出展企業数 : 29社
総来場者数 : 848名 (一日目536名、二日目312名)
会場 : 西鉄ホール (福岡市中央区天神2-11-3 ソアリアステージ6F)



■無料セミナー

[9月7日]

- 第1講座 「新集客法、予約サイト活用術」 (株)アルメックス / (株)KUSABI
□第2講座 「アメニティトレンド、喜ばれるアメニティ」 (株)イプロス / (株)マイン / (株)東京マツシマ
□第3講座 「レジャーホテルデザイントレンド」
(株)KOGA設計 古賀 志雄美 氏 / (株)玄子空間デザイン研究所 玄子 邦治 氏 / スタイルアソシエイツ 谷 昌敏 氏

[9月8日]

- 第4講座 「レジャーホテル24時」 レジャーホテルの各種トラブル～関係者の体験談

■懇親会

会場 : PLUGBAR×EL MUNDO (福岡市博多区中洲3-7-24 Gate's3F) 参加者数 : 147名

■一般社団法人 九州ホテル協会事務局

〒812-0004 福岡市博多区榎田2-9-38 SKビル503

HP : www.kyushuhotels.jp 問合せ : info@kyushuhotels.jp



第4回 ゴルフコンペ 2016年10月6日（木）

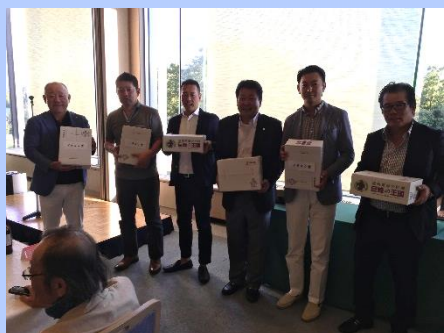


第4回 ゴルフコンペ in おおむらさきゴルフ倶楽部

去る10月6日に今年で4回目を迎え、すっかり恒例行事となりつつある、日本レジャーホテル協会ゴルフコンペが開催されました。これまで毎年会場を変えて開催をされていますが、今年の舞台は埼玉県にあります「おおむらさきゴルフ倶楽部」で行われ、日頃より研鑽を積んできた総勢72名の業界関係者によって盛大に開催されました。前日まで台風の進路が心配され関係者はやきもきさせられましたが、当日は台風一過のさわやかな秋晴れに恵まれ、最高のゴルフ日和となりました。そんな中、新ペリア方式で競われたゴルフコンペを制したのは、福島から参加された（有）志金商事の石田知郎様となり、3位に入賞された（株）トーコーの北原範之様



とともに今年も福島県勢の上手さと勝負強さが光った大会となりました。また、栄えあるベストグロはティーンブレンズ（株）の高村泰弘様が、78というスコアでこちらも見事にとられました。回を重ねるごとにそれぞれお互いの力量もわかり、負けたくないという競い合うのがゴルフの醍醐味の一つです。うれしい思いをされた方も悔しい思いをされた方も、再びこの舞台でゴルフがしたいと思われたのではないのでしょうか。ぜひこのゴルフコンペをレジャーホテル業界の最大規模のコンペとして、定着させていきたいと思っています。ご参加いただいた皆様、大変ありがとうございました。



一生に一度は富士登山！ 2016年8月3日（水）～4日（木） 記・石川幸男

松本新青年部部長のもと、毎月一度何か企画をやりましょうということになりまして、まず第一弾の企画として富士山に登ることになりました。登山なんて小学校の遠足くらいしか経験のない状態で日本の最高峰への挑戦でしたので幾分無謀かなとも思いましたが、先輩や友人たちも初めての人が多く、初登頂を共有するチャンスと思い参加を決めました。

はとバスツアーでしたのでガイドも付くしいろいろ安心だと考えていましたが、スタートからあいにくの大雨。雨具を装着し肌寒い中での出発となりました。濡れながらの登りで出鼻を大きくくじかれましたが、誰も帰りたいと言い出さず黙々と歩を進めていました。雨以外にトラブルもなく皆で8合目の宿泊所まで登りました。有料のト



イレや特別料金の飲み物、宿泊所の玉ねぎばかりのカレーや雑魚寝の寝袋などに富士山の中だけで通じる常識を見た気がしました。ご来光を見るために夜の11時ごろ宿舎を出発したのですが真っ暗闇の中、ヘッドライトの明かりを頼りに山頂を目指しました。このとき気温13度程度。人が多すぎて渋滞してしまうくらいの中、ほぼ水着の外国人女性や幼稚園児に抜かれながらガイドさんの指示に従いゆっくりと確実に上りました。



みんなの頑張りにこたえてくれたのか翌朝は快晴。ご来光も拝めていろいろ報われたねーあとはサッと下って温泉だーと甘く考えていましたが、下山が思ったよりきつかったです。やってみてわかりましたが、ずっと坂を下るといふ経験がまず無いことでつま先やひざを痛めてしまったり、ゴツゴツとした石の多い道で足元の悪さで捻挫してしまう方が多数発生。本格的にひざを痛めてしまった方の荷物を協会関係者2名が率先して持ってあげていました。今振り返って考えてもなかなかできることではないなと思います。恥ずかしながら私の中に荷物を持ってあげられる余裕は全くありませんでした。その2名も実情はそんなに変わらなかったと思います。極限の中で人間性が試されるといいますが、私は弱く、彼らは強かった。登山家の従業員曰く、富士登山で人生観が変わることが多いそうです。そのまま山にのめりこんだり、自然を愛でるようになったり。今回のツアー名が“人生一度は富士登山”なのも一度で持ち帰るものがそれなりに大きいということかもしれません。私は特に体を鍛えたり、次の登山を計画したりという変化はありませんでしたが、漠然と“強くありたい”と思うようにはなりました。





青年部企画第二弾は座禅と写経体験という何とも渋い企画となりました。もともと座禅には興味がありまして一人でも体験に行ってみたいなという気持ちはありましたが、一人で座禅に行っただと何となく何か悩みがあるんじゃないか、仕事がうまくいってないんじゃないか、いよいよ家族に捨て…などいらぬ好奇心を掻き立ててしまう気もしましてなかなか踏み出せずにいました。

今回協会のお知り合いの方で料金もお安く、かつ気軽な感じで参加させていただきました。長く続いた雨も上がって久しぶりの晴れの日、秦野駅の近くにあり、命徳寺にて体験させていただくことになりました。個人的にお寺さんのイメージは重たい、固い、暗いというイメージだったんですけど、こちらが大勢でお伺いしたからか



気圧されるようなことはなかったです。お堂に上がらせていただき早速座禅をする前の作法を習いました。作法を教えてもらう間にお坊さんがほぼ同年代であること、ドラムを嗜むちょっとファンキーな方だということを知り、親しみを覚えました。本堂に移りいよいよ座禅の本番です。座布団を2枚しきちょっと特殊な座り方をして背筋を伸ばし、手を組んで半眼の状態できざ座禅スタートです。ルールとしては息を吸って吐いてを1と数え、雑念なく数を数え続け、数がわからなくなったり雑念が入ってしまったら1から数えなおすというもの。



本堂の中は雑念を起こさせるものが多数ありました。焚き過ぎじゃないかなと思う蚊取り線香や関係ないよと飛んでいるハエの羽音、じっとりと汗ばむ気温。そんな中、総勢14名がひたすら数を数えている。なんだか不思議だなーと雑念交じりで座禅をしていました。もう一つ、座禅といえば打擲（ちょうちゃく）ですが、みんなの集中が高かったためか前から順番に“座禅をやったら一回は叩いとかなないとね”という感じでなされました。痛いのかと問われることが多かったですが、痛めつけようという性質のものでもないようで、私の背中が座禅の際、丸まってしまうのを正してもらうのに打擲棒を背中にぐりっと押し付けられるほうが

よっぽど痛かったです。長かったような短かったような座禅を終え、最初の場所に戻り写経に取り掛かりました。お経の書いてある紙の上に半紙を乗せそこに筆ペンで書き写す作業です。昔やった塗り絵のような感じで始めたんですが、気のせいかもしれませんが普段より集中できているように感じました。本厚木の駅前で懇親会をしました。懇親会から合流される方もいて活発な意見交換がなされました。何度もお会いする機会はあるとお話する機会がなかった方々とお話しでき有意義な時間を過ごしました。

